

# 令和3年 第9回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和3年10月14日(木)

場所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	加藤 雅也		
教育長職務代理者	小藤 省吾	委	員
委 員	久田 徳彦		永田 淑子

出席職員の氏名

教 育 部 長	靱山 英巳	学 校 教 育 課 長	森田 良孝
生涯教育課長	伊藤誠一郎	ス ポ ー ツ 課 長	田中 孝往
町民会館事務長	藤井 信介	歴史民俗資料館長	神谷 芳美
中央公民館長	石田 修	生涯学習課課長補佐	西川 正洋
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	スポーツ課課長補佐	横田 覚
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	岩田 圭司	学校教育指導主事	稲垣 勉

：欠席者

## 1. 開会 午後1時30分

## 2. 開会宣言並びに第9回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し会議の成立及び第9回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あれば、お願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等も無いようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくをお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告に移ります。教育長、お願いします。

## 3. 教育長報告

9/9(木) 定例教育委員会 総合教育会議

9/10(金) 安全衛生委員会(書面会議)

9/13(月) 学校訪問(富貴中)

9/14(火) 文教厚生委員会  
9/15(水) 知多地方教育懇談会(書面会議)  
9/16(木) 定例校長会議  
9/17(金) 学校訪問(緑丘小)  
9/24(金) 学校訪問(武豊小)  
9/30(木) 理財委員会  
10/2(土) 少年少女発明クラブ開設式  
10/6(水) 知教協  
10/8(金) 定例校長会 尾張部都市町村教育長会(豊明)  
10/13(水) 5町教育長会  
10/14(木) 定例教育委員会

(教育部長) ありがとうございました。それでは、議事に移ります。議事進行を教育長  
にお願いします。教育長、よろしくをお願いします。

#### 4. 議 事

議案第 24号 令和3年度 武豊町教育支援委員会委員(案)について

(教育長) それでは、議案第 24号 令和3年度 武豊町教育支援委員会委員(案)について、  
事務局の説明をお願いします。

(指導主事) 資料 1 の説明

「武豊町教育支援委員会要綱」第3条の「構成」に基づき選出  
医師、特別支援学校、校長、関係機関等 18 名

(教育長) 議案についてご質問・ご意見を伺います。

(教育長) 質問もないようですので、承認される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。以上で、議事を終了させていただきます。

#### 5. 報告事項

(1) 武豊町修学旅行の延期等に伴う費用に対する補助金交付要綱について

(学校教育課課長補佐) 資料2について説明

この補助金は、コロナ禍の影響により修学旅行を延期等した場合に発生する費  
用、いわゆる企画料に対する補助金であり、保護者の負担軽減を目的として、新  
規に制度の創設をさせていただき、9月定例会におきまして、予算化したもので  
あります。第4条では、修学旅行における日程や旅行先の変更に伴う企画料を補

助対象経費として規定しております。この企画料とは、契約成立後より発生する旅行作成に係る料金であり、契約書面に明示された金額となります。第6条から第9条までにおいては、交付申請から実績報告までの事務手続き上、必要な事項について規定しております。現在、学校側に申請の準備を進めていただいております。今後速やかに支払いをしてまいります。

(2)令和4年度定例教育委員会開催日程について

(指導主事) 資料3について説明 年 11 回実施予定

原則毎月(8月除く)第2木曜日で設定する。今後の他の予定により変更あり。

(3)令和3年度教職員人事校長面談について

(指導主事) 資料4について説明

10月26日(火) 校長と教育長による面談

11月11日(木) 校長と教育委員による面談(定例教育委員会後に実施)

(4)令和4年度武豊町成人式実施概要について

(生涯学習課長) 資料5について説明

期日は令和4年1月9日(日)午後を予定しております。すでに第1回目の成人式実行委員会を開催いたしました。昨年度と同様に2部制に分けて実施していきます。教育委員や議員の参加については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて12月上旬に決定してまいります。

(5)壱町田湿地一般公開の結果について

(歴史民俗資料館長) 資料6について説明

一般公開は例年7月から9月までの5日間ですが、コロナ禍での緊急事態宣言を受けて、今年は9月を除く3日間の実施となりました。来場者数の合計は491人となりました。

(6)後援申請について 資料7について説明

(学校教育課課長補佐) 学校教育課担当(今年度4～9月の申請 9件)

(生涯学習課長) 生涯学習課担当(今年度4～9月の申請 14件)

(町民会館事務長補佐) 町民会館担当 (今年度4～9月の申請 10件)

(スポーツ課課長補佐) スポーツ課担当(今年度4～9月の申請 1件)

(7)学校の近況について

(指導主事) 各学校の近況について説明

- ① コロナ過での学校教育
- ② 学校に関する最近の動向について
- ③ 武豊町教育支援委員会について

(8) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料8について説明

6. その他

(1) 町民会館より

(町民会館事務長補佐) 当日配付資料の説明

・ゆめプラ通信

(2) スポーツ課より

(3) 生涯学習課より 資料9の説明

- ・図書館フェスタ、読書感想文・感想画コンクール等の中止について
- ・武豊町子どもニュースについて

(4) 学校教育課より

なし

7. 教育委員より

(教育部長) 教育委員のみなさまからお気づきの点があればご意見をお願いします。

(委員) 新型コロナウイルス感染症を恐れるあまり、陽性者や濃厚接触者への配慮を忘れてしまいたくないです。感染拡大を防ぐことも大切ですが、感染報告等の連絡を受けた場合には、ぜひ、本人の体調を気遣ったり、周りの不安を取り除いたりする、温かい言葉がけをしてほしいです。大切なのは、人々の関心がどこを向いているかだと思います。人の気持ちは言葉や態度、仕草に表れます。子どもたちにとって最善なこととは何かを常に念頭におき、温かい励ましや支援、体調を心配する言葉がけをしてほしいです。こうした言葉がけで本人・保護者は安心し、信頼や信用を得られると思います。また、これは、コロナ禍だけではなく、普段の学校生活も同様だと思います。授業中の指導や言葉がけでも、子どもたちにとって最善は何かを正確にとらえて、対応してほしいです。

(委員) 新聞に「不登校最多 いじめ急減」との記事がありました。ともにコロナ禍の影響だと書かれていました。休校の影響で、言葉を発しなくなる、無表情になってしまう子どもたちもでてきているようです。目に見えないところで、影響が起きているので

はないかと心配しています。国立成育医療研究センターの調査によると、コロナ禍の影響として「イライラする、集中できない」などストレスを感じている子どもたちの割合が調査対象の70%になるそうです。新型コロナウイルス感染症について考えることが嫌だと答える割合も調査の度に増えてきています。家庭内のことでストレスが高まっているとのデータもあります。子どもたちが悩みやストレスを外へ出しきれていない現状もあります。今後、学校では教育相談等も行われると思います。ぜひ、子どもたちの心に寄り添っていただき、少しでも、困っていることを聞いたり、安心させたりして、対応していただければと思います

(委員) 先日、いじめ防止対策推進法が定められて10年になりました。大津市での痛ましい、いじめ事件が発端で作られた法であり、被害者の父親の手記が記載されました。「いじめを防ぐための学校教育の改善が必要であり、この10年、いじめ防止の理念が、いまだに十分に浸透していない現状がある。心の教育など、加害者も被害者も出さない教育が必要である」とありました。また大津市教育委員会教育長も、「一人一人の尊厳を大切に教育施策を実施する」と書かれていました。インターネットを使ったいじめが増えている中、「いいね」や「好き・嫌い」の単語だけでやり取りを行うことを大変危惧しています。対象や理由もはっきりしないまま単語で判断するのは危険だと思います。少しでも文章でコミュニケーションを図り、感情だけでなく、「なぜそう思うのか」「何が問題なのか」など、知性が伴うやり取りを行ってほしいと思います。

先日の新聞に「日記をなぜ書くのか」についての記事が出ていました。その記事は戦争中に傷つけられても、自分の正義や意志を貫いた教員のことを思う生徒の日記を基に書かれていました。記者は、日記を書くのは、起きたことを決して忘れないため、過ちを覚えておくために書くとありました。いつか自分が大人になったとき、どんな未来を創造するか考えるためにも、いま日記を書いて、考えを残しておいてほしいとありました。日記を書くことは、考えなければならないので大変だと思います。しかし、自分で考える責任を回避することで、大きな過ちや失敗を起こしてしまうことがあります。子どもたちに日記を書くことの意味やその意義を指導していただき、1週間に1回くらいは自分の考えをまとめたものを書くように勧めるとよいのではと思います。

(教育部長) 以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。ありがとうございました。

(一同) ありがとうございました。

令和3年 月 日  
署名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者 稲垣 勉.....